

■新規セミナー確認テスト■（介護予防）訪問入浴介護

（問） 以下の記述について、正しいと思われる場合には○を、間違っていると思われる場合には×を記入してください。

（解答欄）

(1)	訪問入浴事業所の管理者は、業務に支障がなければ、近隣にある同一法人の別の訪問入浴事業所の管理者を兼務することができる。	(1)
(2)	訪問入浴事業所の管理者は、業務に支障がなければ、同一敷地内にある訪問介護事業所の管理者を兼務することができる。	(2)
(3)	看護職員は派遣会社から派遣してもらっているので、看護師資格の確認は訪問入浴事業所で行う必要はない。	(3)
(4)	就業規則で常勤が勤務すべき時間を週40時間としている事業者に、パート（非常勤）として雇用された介護職員であっても、常勤職員と同じく週40時間勤務すれば、介護保険法令上は常勤の扱いとなる。	(4)
(5)	看護職員が外部研修に行くため不在となる日だったが、利用者とその家族から同意を得られたので、主治医には特に確認せず、介護職員3人でサービス提供した。	(5)
(6)	週1回の訪問入浴の予定だった利用者から、週2回に増やしたいとの話があったので、まずは担当ケアマネジャーに連絡した。	(6)
(7)	サービス提供の記録は、サービスを提供した日から2年間保管しなければならない。	(7)
(8)	料金表に位置付け、予め利用者又はその家族に説明を行い、利用者の同意が得られていれば、タオル代を利用者から徴収することができる。	(8)
(9)	運営規程は事業所指定を受けた時に作成されていればよく、従業員の人数が変わっても特段の修正は不要だ。	(9)
(10)	介護職員を新たに採用し、増員となったが、県への変更届の提出は不要だ。	(10)
(11)	身体の状態が安定しており、主治医からも入浴により当該利用者の身体の状態に支障が生じる恐れはないとの意見を確認している利用者に対しては、絶対に介護職員3人（予防の場合は2人）でサービス提供しなければならない、所定単位数の95%で請求を行う。	(11)